

## 旧佐賀郡消防本部の沿革

昭和47年	4月	佐賀郡内6町に対し、消防組織法第10条に基づく消防本部及び消防署設置の政令指定を受ける。(自治省告示106号)
昭和49年	3月	佐賀郡消防事務組合設立許可。(佐賀県指令49地759号)
	4月	佐賀郡消防本部設置。(川副町大字鹿江)
	4月	消防本部次長及び署長の任命。 初代消防長就任 消防職員2人採用 本部指令車を配置。 事務補佐員1人採用。 連絡車を配置。
	5月	消防職員33人採用 川副町役場から事務吏員2人の出向を受ける。
	8月	日本消防協会から寄贈された救急車1台を配置。
	9月	消防職員2人採用 南部消防署及び北部消防署に、それぞれ19人の職員を配置、仮庁舎において発足する。  消防ポンプ自動車を両消防署に各1台配置 救急車及び連絡車を北部消防署に配置。 消防無線基地局2局、移動局6局を配置。 南部消防署及び北部消防署実動開始。
	10月	消防職員9人を採用。
	12月	救急車を南部消防署に配置。
昭和50年	2月	日本損害保険協会から寄贈された救急車1台を北部消防署に配置。 消防本部(南部消防署)新庁舎完成移転
	3月	北部消防署新庁舎完成移転
	4月	川副町役場からの出向職員2人を消防職員として採用。
	5月	消防職員16人を採用。 福岡商店から寄贈された救急車1台を南部消防署に配置。
	6月	日本消防協会から寄贈された広報車1台を消防本部に配置。
	10月	消防職員1人を採用。 出張所配車分として消防ポンプ車3台購入。
	11月	消防職員1人を採用。 諸富、久保田、富士出張所新庁舎完成移転開設。諸富出張所(消防ポンプ1台) 久保田出張所(消防ポンプ1台・救急車1台) 富士出張所(消防ポンプ1台・救急車1台)  消防無線移動局6局を配置。
昭和50年	11月	佐賀県常備消防相互応援協定を締結。

昭和51年	4月	本部の組織を2課4係制とし、職員定数を94人に改める。 佐賀市からの出向職員のうち南部消防署長の併任を解き、署長事務取扱として消防長の兼任発令。
	9月	水槽付消防ポンプ車1台購入、南部消防署に配置。 消防無線移動局2局を配置。
	11月	消防本部庁舎一部増築。
昭和52年	2月	消防無線基地局1局を富士出張所に配置。
	3月	消防本部訓練場拡張
	10月	水槽付消防ポンプ車1台購入、北部消防署に配置。 消防無線移動局1局を配置。
	12月	林野火災用積載車購入、北部消防署に配置。 消防無線移動局1局を配置。
昭和53年	4月	本部の組織を2課5係制とする。
昭和54年	2月	佐賀県農業共済組合連合会から寄贈された救急車1台を南部消防署に配置。  消防無線移動局7局を配置。
	3月	小型動力ポンプ積載車購入、南部消防署に配置。
	9月	消防無線移動局3局を配置。
	11月	消防ポンプ車(火災保険号)南部消防署に配置。
	昭和56年	8月
	12月	北部消防署庁舎(待機室・車庫)増築工事完成。
昭和57年	3月	林野火災用受令機5台購入、北部消防署に配置。
	4月	資材搬送車1台購入、南部消防署へ配置。
	9月	日本消防協会から寄贈された指令広報車を南部消防署へ配置。
	10月	日本防火協会から寄贈された防火広報車を南部消防署へ配置。
昭和58年	1月	職員定数を97人に改める。
	9月	日本消防協会から寄贈された救急車を北部消防署へ配置。 救急車1台を購入し南部消防署へ配置。
	11月	久保田、富士出張所の配置職員を各10人にする。
昭和59年	3月	資材搬送車に照明装置の取り付け。
	5月	本部指令車を更新配置。
	8月	日本消防協会寄贈の緊急給水ろ過装置を消防本部に配置。
	12月	九州横断高速自動車道大和インターの供用に備え、日本自動車工業界寄贈の救急車1台を北部消防署へ配置。
昭和60年	3月	北部消防署に救急隊1隊配置。
	10月	消防無線全国波を増設。

昭和61年	9月	佐賀トヨタ自動車株式会社から寄贈された救急車を南部消防署へ配置。
昭和61年	10月	車載型無線機2台、携帯型4台購入。
	12月	南部消防署訓練塔完成。
昭和63年	3月	救助工作車1台を購入し北部消防署へ配置。
	8月	日本消防協会から寄贈された消防無線移動局携帯型10台を配置。
平成元年	1月	消防ポンプ自動車(CD-1型)を富士出張所へ更新配置。
	3月	消防ポンプ自動車(CD-1型)を南部消防署へ更新配置。
	10月	消防ポンプ自動車(CD-1型)を北部消防署へ更新配置。
平成2年	3月	消防ポンプ自動車(CD-1型)を諸富出張所へ更新配置。
	8月	日本消防協会から寄贈された救急車1台を北部消防署へ更新配置。
	9月	指令広報車1台を北部消防署へ更新配置。
平成3年	2月	水槽付ポンプ自動車(1-A型)1台を南部消防署へ更新配置。
	10月	水槽付ポンプ自動車(1-A型)1台を北部消防署へ更新配置。
平成4年	3月	災害弱者緊急通報システム稼動。
	7月	ソエジマ工芸から寄贈された広報車1台を南部消防署へ配置。
	8月	日本消防協会から寄贈された広報車1台を消防本部へ更新配置。
	9月	消防ポンプ自動車(CD-1型)を久保田出張所へ更新配置。 職員定数を111人に改める。
平成5年	3月	救急車2台(南部消防署、北部消防署)を救急Ⅱ課程用に改造。
	7月	消防無線携帯型5Wを9台購入配置。(2台更新)
	8月	日本消防協会から寄贈された救急車1台を富士出張所へ更新配置。 資材搬送車1台を南部消防署へ配置。
平成6年	6月	消防本部発足20周年記念誌「20年の歩み」を発行。
	12月	救急救命士1人を配置。
平成7年	1月	潜水救助隊を設置。
	2月	高規格救急車を南部消防署に配置。
	6月	救急救命士1人を配置。(計2人) 日本防火協会から寄贈された防火広報車1台を南部消防署へ配置。
	9月	資材搬送車1台を北部消防署へ配置。
	12月	救急救命士2人を配置。(計4人)
平成8年	2月	南部消防署及び北部消防署の車庫増築工事完成。
	6月	救急救命士1人を配置。(計5人)
	7月	消防本部に予防課を新設、3課6係。
	11月	指揮広報車1台を北部消防署へ配置。
	12月	救急救命士2人を配置。(計7人) 救助工作車を南部消防署に配置。
平成9年	1月	高規格救急車1台を北部消防署へ配置。
	6月	救急救命士1人を配置。(計8人)

平成9年	11月	指揮車1台を消防本部へ配置。
	12月	救急救命士1人を配置。(計9人)
		高規格救急車1台を久保田出張所へ配置。
平成10年	6月	救急救命士2人を配置。(計11人)
	12月	救急救命士1人を配置。(計12人)
平成11年	2月	消防ポンプ自動車(CD-1型)を南部消防署へ更新配置。
		高規格救急車1台を富士出張所へ配置。
	6月	救急救命士3人を配置。(計15人)
平成12年	2月	消防ポンプ自動車(CD-1型)を北部消防署へ更新配置。
		消防ポンプ自動車(CD-1型)を富士出張所へ更新配置。